

2016年度 環境活動レポート

(2016年4月～2017年3月)



エコアクション21

認証・登録番号0004034

承認	責任者	作成
		

メニックス株式会社
滋賀県近江八幡市西庄町1810番地

2017年 6月 作成

① 組織の概要

・事業所名、所在地、事業規模

名称	メニックス株式会社	
代表	櫻井 健一	
所在地	〒523-0816 滋賀県近江八幡市西庄町1810番地	
電話 / Fax	0748-33-2550 0748-33-2568	
設立	1994年 6月 15日	
資本金	10,000,000 円	
全従業員	117 名	
事業の規模	売上高	813 百万円
	本社従業員	52 名
	床面積	619.2 m ²
	駐車場面積	1119.3 m ²



・事業の概要

- ◎ 各種自動省力化機械の設計（手作業を機械作業に替える）
- ◎ 半導体関連装置の設計と組立（シリコンウエハーの洗浄装置ライン）
- ◎ 液晶製造関連装置の設計（液晶製造ライン）
- ◎ 各種設備機械の開発設計
（セラミック成形機・ソーラー加工用装置・工作機械・液晶ガラス検査装置・その他）

当社は県下一の規模を誇り、各大手企業様の多様なニーズに応え、精密機械から環境における機械まで幅広く設計を承っております。

長年にわたり、半導体・液晶関係（洗浄装置・周辺機器）、ガラス基盤搬送装置、ボンダーマシン、セラミック成形用自動機、ソーラーパネル生産設備機械、液晶ガラス検査装置、その他FA機・各種設備機械の設計を行ってきております。

また当社では各企業様のご要望により、スキルフルで即戦力となるオペレーターの派遣も行っております。



② 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

・対象範囲

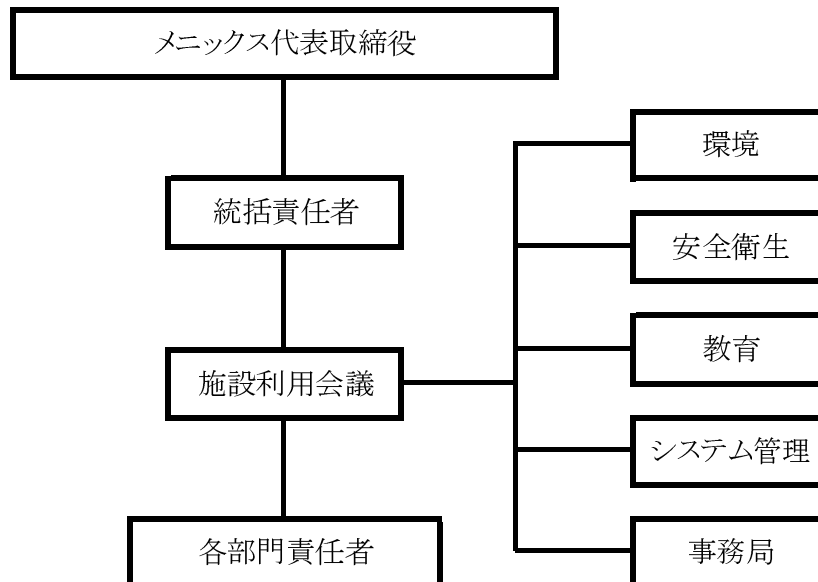
認 証 ・ 登 録 番 号	0004034
名 称	メニックス株式会社(本社)
所 在 地	〒523-0816 滋賀県近江八幡市西庄町1810番地
エコアクション総括責任者	村西 広 治
環 境 管 理 責 任 者	飯 田 正 美
連 絡 先	0748-33-2550 0748-33-2568 Mail To : info@menix.co.jp
本 社 従 業 員	52 名

関連事業所(対象外サイト)	所在地	事業内容	従業員数
・ 彦根事業所(大日本スクリーン製造株式会社様内)	滋賀県彦根市高宮町	機械設計	51 名
・ 草津事業所(キャノンマシナリー株式会社様内)	滋賀県草津市南山田町	機械設計	1 名
・ その他(出向・派遣)		機械設計	13 名

◎ 上記対象範囲(本社)の全活動

◎ 関連事業所(対象外サイト)については顧客ISO14001に従っております。

・EA実施体制組織図



・レポートの対象期間及び発行日

・ レポートの対象期間	平成28年4月～平成29年3月
・ 発 行 日	平成29年6月 日
・ 次回レポート発行予定	平成30年6月

③ 環境方針

・経営理念 「心の豊かさ」「家庭の豊かさ」「社会の豊かさ」

- ・ 私たちは、仕事をする上で、豊かさをテーマに働きます。
- ・ 仕事に自信を持つ。仕事に生き甲斐を持つ。仕事に夢を持つ。
- ・ そしてメニックスで働けることに喜びを持ち、感謝する。
- ・ みんなと働けることに喜びを持つ。

・環境理念

当社は、地域環境及び地球環境の悪化に対し、その環境保全を私達が進んでやらなければならないことを認識し、事業活動においても、日常生活においても、常識ある善良な人間社会の構築に貢献します。

・経営方針 「技術力強化」「スピードアップ」「経費削減」

- ・ 常に技術力を強化し続け、仕事の確保に努めます。
- ・ 徹底した効率化によりスピードアップを実現し、売上の確保に努めます。
- ・ 無駄なコストを抑えて、利益の確保に努めます。

・活動方針

当社は滋賀県下を中心とした機械設計の事業を行っています。
この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、社員と協力してエコアクション21環境経営システムを構築運用し、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 環境改善目標を定め、定期的に見直しを図り、改善を継続して環境破壊の予防に努めます。
3. 開発・設計業務遂行において、エコに努めます。
4. 環境破壊の影響を軽減するため、次の活動を実施します。
 - ・ 環境に配慮し、グリーン購入の拡大に努めます。
 - ・ 地球温暖化防止のため、電気・ガソリン・灯油の使用量を削減し、省エネを推進します。
 - ・ 事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ・ 会社で使用する水・紙の使用量を削減し、省資源に努めます。
5. この環境方針は、教育や日常活動を通じて全社員に周知します。

平成 20年 4月 1日
改定 平成 25年10月 15日

滋賀県近江八幡市西庄町1810
メニックス株式会社

代表取締役

櫻井健一



④ 環境目標

・当該年度の環境目標

自己チェック項目	環境目標	
温室効果ガス排出量 kg-CO ₂	28,470	■ 2014年度基準値から4%削減。
廃棄物等総排出量 kg	419	■ 2014年度基準値から4%削減。
総排水量 L	230	■ 2014年度基準値から4%削減。
総物質投入量 (グリーン購入) %	69	■ エコマーク事務用品等のグリーン購入比率を2014年度を4%上回るように拡大する。
自社製品に関する 取組(対応内容)	■ 設計時のエコの徹底の為、下記項目を実施 ① 節電 ② 2S推進(図面等の電子ファイル化) ③ 使用済みコピー用紙のリサイクル化アップ、焼却ゴミの削減他	

・中長期の環境目標

取込項目	年度別環境目標			
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	基準値	目標値	目標値	目標値
1. 二酸化炭素排出量削減 (kg-CO ₂)	29,656	29,063	28,470	27,877
・電力使用量の削減 (kWh)	42,390	41,542	40,694	39,847
・ガソリン消費量の削減 (L)	2,280	2,234	2,189	2,143
・灯油消費量の削減 (L)	897	879	861	843
2. 廃棄物の削減	436	427	419	410
・産業廃棄物の削減 (kg)	0	0	0	0
・一般廃棄物の削減 (kg)	436	427	419	410
3. 水使用量の削減 (m ³)	240	235	230	226
4. グリーン購入の実施 (購入割合の増加) (%)	65%	67%	69%	71%
5. 自社製品に関する取組 (対応内容)	①節電、②2S推進、③使用済みコピー用紙のリサイクルアップし、焼却ゴミを削減			

※ 電力の排出係数は、0.522 (kg-CO₂/kWh)を使用。

※ 削減目標は、2014年度活動を基準年度に設定し、毎年2%を削減目標に設定。

※【参考】 自社製品に関する取組は、1.2.の取組と重複するので対応内容の参考表示とした。


⑤ 環境活動計画 (主要な環境活動計画の内容と責任者)

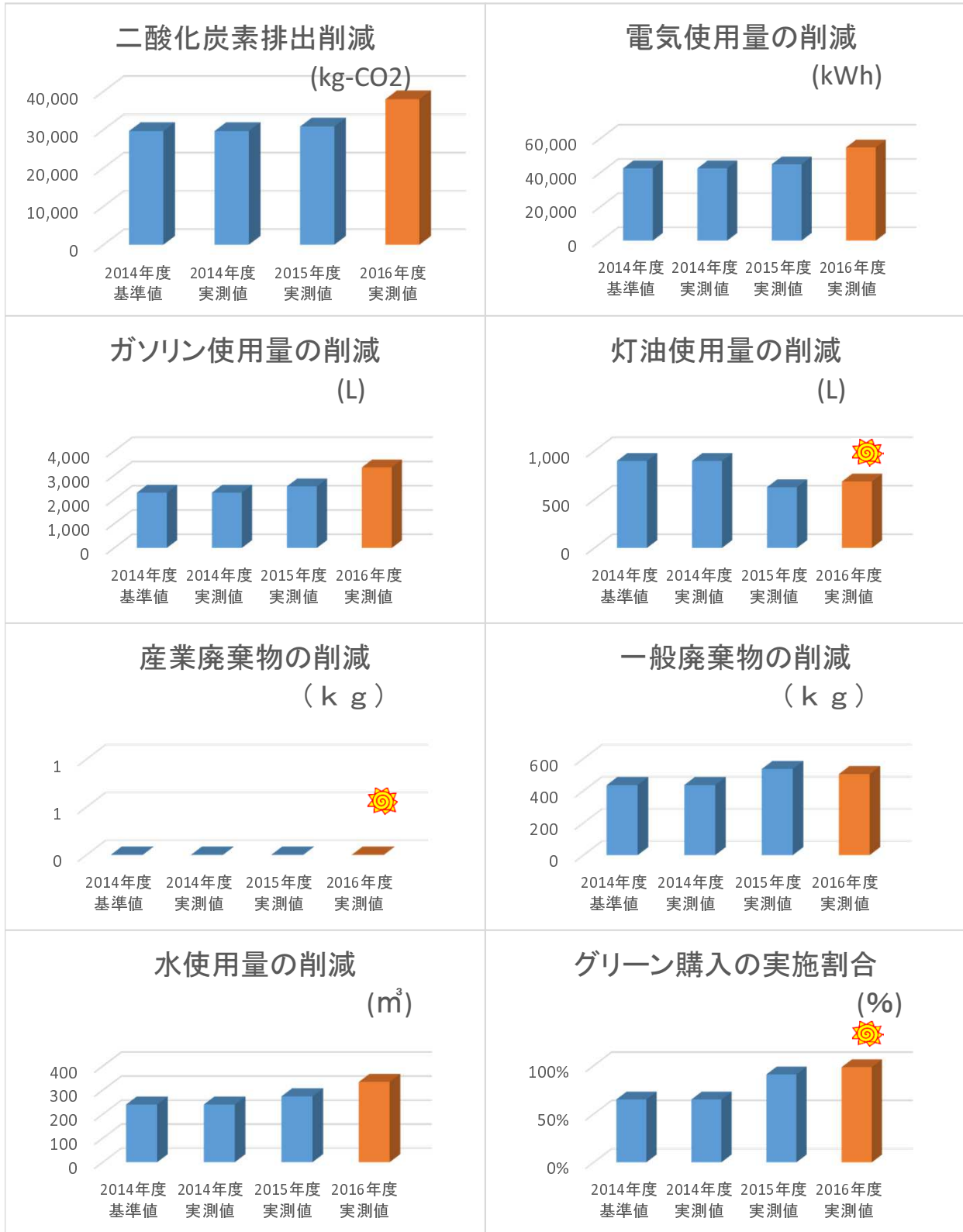
取組項目	活動計画の内容	責任者
二酸化炭素排出削減	電気使用量の削減 ① OA機器の管理 不要時のスイッチオフ(従量電灯) ② 室内温度管理 エアコンの温度管理(低圧電力) (使用温度は夏季28℃以上、冬季20度以下) ③ レイアウト変更による空調の効率化 ④ 不要時の消灯(従量電灯)	飯田
	ガソリン使用量の削減 ① 社有車の定期的な整備 ② 不要なアイドリングを行わない エコを心がけた運転の実施 ③ エコドライブモードを活用したエコ運転	大澤
	灯油使用量の削減 ① ストープの使用温度は20度以下とする	飯田
廃棄物の削減	産業廃棄物の削減 ① 設計に掛かるコピー用紙は、全てリサイクル処理	飯田
	一般廃棄物の削減 ① 一般ゴミの削減 紙コップ等の使用を減らす 分別収集を行い、リサイクルを図る ② 紙の再生利用を進める ③ 裏紙を使用する	
水使用量の削減	① 清掃時の節水 雑巾等の洗浄をバケツにて行う ② 水洗トイレの水使用量を減らす 水流し音発生装置の使用	飯田
グリーン購入の実施	① 当社の購入対象となる環境配慮商品などを把握する ② 環境配慮商品購入にあたっては、把握した対象商品から購入する	大澤
自社製品に関する取組 (対応内容)	① 節電(省電力PCの採用推進・省電力設定) ② 2S推進(図面の電子ファイル化による整理整頓) ③ 使用済みコピー用紙のリサイクル化アップ、 焼却ゴミを削減 PC導入時の梱包材排出削減	飯田


⑥ 環境目標の実績

2014年度を基準データとする。

2016年度は、基準年度(2014年度)の4%を削減目標に設定比較しました。

 : 目標達成マーク



 : 目標達成マーク

取組項目	2014年度 基準値	2016年度 実測値	2015年度 達成率	2016年度 目標値	2014年度 実測値	2015年度 実測値
二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	29,656	37,952	75%	28,470	29,656	30,833
電気使用量の削減 (kWh)	42,390	54,659	74%	40,694	42,390	44,783
(kg-CO2)	22,128	28,532		21,242	22,128	23,377
【参考】 電力の発電量(本社発電分) (kWh)	48,730	46,077	—	—	48,730	34,127
ガソリン使用量の削減 (L)	2,280	3,322	66%	2,189	2,280	2,539
(kg-CO2)	5,293	7,713		5,082	5,293	5,895
灯油使用量の削減 (L)	897	685	 126%	861	897	627
(kg-CO2)	2,235	1,707		2,146	2,235	1,562
廃棄物の削減	産業廃棄物の削減 (kg)	0	 100%	0	0	0
	一般廃棄物の削減 (kg)	436	505	83%	419	536
水使用量の削減 (m ³)	240	334	69%	230	240	274
グリーン購入の実施割合 (%)	65%	99%	 143%	69%	65%	91%

- ※ 目標値を2014年度を基準年に設定し、2014年度実測値を4%削減する。
太陽光発電(2013年3月稼動)は、全て売電の為、参考数値とした。
- ※ 自社製品に関する取組は、消費電力の削減・廃棄物の削減に変える。
- ※ 電力CO2排出係数は、0.522kg-CO2/kWを使用。

⑦ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組項目	取組結果	評 価	次年度の取組	
二酸化炭素排出削減	電気使用量の削減	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ① 不要時のスイッチオフは、守られている。 ② エアコンの温度管理は、設置された温度計を参考にできている。しかし、猛暑のため消費電力が増加。(使用温度は夏季28℃以上、冬季20度以下) ③ 会議室等を設計作業用・教育用転用による増加 ④ レイアウト変更による空調の効率化を実施。 ⑤ 不要時の消灯は、各人が気を付け守られている。 	継続する。
	ガソリン使用量の削減	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ① 社有車の定期的な整備は、問題なし。 ② エコドライブを心掛けるも業務量の増加(走行距離増加)により、ガソリン消費量の増加。 ③ 社有車の増加により、ガソリン消費量が増加。 ④ 島根県・富山県の取引発生に伴う、走行距離の増加。但し、交通機関の利用も優先している。 	継続する。
	灯油使用量の削減	達成	<ul style="list-style-type: none"> ① ストープの使用温度は20度以下に設定は、守られている。 ② 3F設計ルーム断熱化工事により灯油の消費削減 	継続する。
廃棄物の削減	産業廃棄物の削減 (製品に関する環境目標)	達成	<ul style="list-style-type: none"> ① 製品に係る使用済みコピー用紙は、全てリサイクルがはかれた。 	継続する。
	一般廃棄物の削減 (製品に関する環境目標)	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ① 一般ゴミの削減は、分別収集を周知したが、社屋改装に伴い廃棄物の増加が発生した。 ② 裏紙の使用については、回収箱を設け、プリンターに設置し実施できている。 	継続する。
水使用量の削減	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ① 清掃時の節水は、雑巾等の洗浄にバケツ水を使用を実施できている。 ② 水洗トイレは、水流し音発生装置を設置し、使用量の減量は実施できている。 ③ 水栓付近に「節水」シールを点検・貼付、節水をPR。 ④ 本社常駐社員の増加により生活排水の増加。 	継続する。	
グリーン購入の実施	達成	<ul style="list-style-type: none"> ① 当社の購入対象となる環境配慮商品などを把握については、実施できている。 ② 担当者の重点取組により、引続き目標達成が出来た。 	継続する。	
自社製品に関する取組 (対応内容)	—	<ul style="list-style-type: none"> ① 節電はPCの入換時に省電力タイプの導入、通い箱使用により梱包材の削減ができた。 ② 業務拡大、設計者の増加により、未達成項目が増えた。 	継続する。	

⑧ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・市のゴミ出しルール遵守 ・一般廃棄物委託基準の遵守 	遵守
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易点検の実施 ・簡易点検の記録・保存 	遵守
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・小売店、自治体を通じた指定引取場所への引渡し 	当該期間に該当なし
資源有効利用促進法	<ul style="list-style-type: none"> ・最寄の製造業者への引渡し及び回収・リサイクル費用の支払 	遵守
容器包装リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の容器の分別回収 	遵守
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・購入時又は車検時又は廃車時にリサイクル料金の支払 ・適正な業者への廃車引渡し 	遵守
RoHS指令	<ul style="list-style-type: none"> ・人体に有害な物質を使用しない商品づくりのため、代替物質への置き換え 	遵守

- ・フロン使用エアコン機器の把握、簡易チェック実施 4/29、7/29、10/27、2/8
- ・関連関係法規等のチェック確認日 平成29年6月20日

・環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

関連関係法規への違反、訴訟はありません。
また関連当局からの違反、地域住民からの訴訟等は、過去3年間ありません。

[その他]

- ・社長の火災発生の号令を合図に避難訓練、避難者の点呼確認を実施 11/15
- ・LED管のチラツキが発生、電源ユニットを交換。(発生頻度の増大)
- ・3階設計ルームの断熱工事を実施。(9/19,10/10)
- ・グリーンサイトライセンス購入(植林 50本) 2/14

⑨ 代表者による全体評価と見直しの結果

グリーン購入量は、担当者の購入時チェックにより、引続き達成できた。
二酸化炭素の排出量削減は、電力・ガソリンが未達成、灯油は3F設計ルームの断熱化工事により達成できたが、全体で未達成となった。電気・ガソリンは、業務量増加により、止むを得ない。
水使用量の削減は、本社常駐社員の増加により、生活排水の増加により、未達成。
廃棄物の削減は、産業廃棄物のコピー用紙はリサイクル化により達成。
一般廃棄物が社屋の改修などにより増加し、未達成。
全体的に未達成の項目が増加したが、業務拡大によるもので削減の取組は出来ており問題ない。
審査人のアドバイスのとおり、2016年度データを参考に目標設定の見直しを検討する。

